

研究主題

主体的な学びを促す授業の創造

～課題を見つけ、自ら学び、解決する生徒の育成を目指して～

<めざす子供像>

自主：課題を見つけ、自ら学び、解決していく生徒
自立：たくましく進路を切り拓く生徒
共生：仲間とともに伸びる生徒
創造：感性豊かで、創造的な生徒

<つきたい資質能力の育成>

主体的に学ぶ力

思考力・表現力

つながる知識

かかわる力

浦崎15年連携教育の充実

未来を拓く基盤をつくる

<一人1研究授業(授業改善)の充実>

“園小中で改善の重点を共通化”

- ①主体的に学ぶ力を育成するための単元構成の在り方
- ②主体的に学ぶ力を育成するための課題（「問い」）を設定する工夫
- ③思考力・表現力の育成に向けた工夫
- ④評価の工夫
→めあてを達成した児童生徒の姿を明確にする。（ゴールを明確にした指導）
→「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法の工夫

キャリア教育の視点を取り入れた授業改善

<小中の児童生徒等による交流活動を計画的に実施>

“園小中で交流を計画的に実施”

- ①園・小・中のそれぞれのステージで一貫性・継続性のある取組を進めることで、自己肯定感の向上を目指す。
- ②小さな交流（異年齢交流、生徒会児童会交流等）を充実させる。
- ③教員の乗り入れを実施し、小中（園）との情報交流、互いの学校文化についての理解を深め、中1ギャップの解消に努める。
- ④園・小・中合同行事の在り方を模索し、実施する。

<未来貢献プロジェクトの充実>

生徒自らが地域課題を見つけ、解決方法を提案する学習（未来貢献プロジェクト：総合的な学習の時間）を充実させ主体性を高めるとともに、郷土を愛する気持ちを育成する。

保護者・地域の教育力の活用

自ら高まり合う集団づくり
(行事の運営、生徒会・委員会活動等)

教職員のやりきらせる指導

生徒の実態

- 生徒は、保育所（認定こども園）から同一の小集団で育っている。指導がしやすい面もあるが、固定化された人間関係の中で、周りを見ることが多く、横並び意識が強い。
- 自分の考えを積極的に出し、みんなをリードするといった姿も少なく、学習集団としての活力に欠けている。また、集団内の力関係から水面下で生徒間トラブルが発生する可能性を否定できない。